

じん麻疹・血管性浮腫

urticaria

岩本和真 広島大学病院・皮膚科学

GL 蕁麻疹診療ガイドライン (2018)

トピックス

- オマリズマブ (ゾレア) の使用可能施設が、「皮膚科専門医またはアレルギー専門医が、当該施設で、あるいは近隣医療機関と連携して、喘息、アナフィラキシー等の有害事象に対応できる体制のもとで使用すること」と改訂された (2018年9月).
- 遺伝性血管性浮腫の治療薬にブラジキニン B₂ 受容体ブロッカー (フィラジル) が保険適用となり、発作時に在宅自己注射で治療が可能となった (2018年11月).

治療のポイント

- I型アレルギーを疑う病歴のないじん麻疹で、網羅的なアレルギー検査を実施する必要はない.
- 適切なじん麻疹・血管性浮腫の病型を診断し、そ

エビデンス・文献

今日の 治療指針

Vol. 62

私はこう治療している

福井次矢 高木誠 小室一成

TODAY'S
THERAPY 2020



岩本皮膚科
アレルギー科

今日の治療指針2020 p.1276-78より引用